

## 答 辞

寒暖の日の繰り返しのうちにも、春の訪れが日増しに感じられる今日、私たち留学生のために、学長より激励のお言葉を贈り、専務理事より心のこもった記念品を頂きましたこと、また、このような心暖かな歓送会を挙げてくださいましたことに対し、留学生の卒業生一同を代表して、ここに厚くお礼申し上げます。

本日、卒業することができましたことは指導教授をはじめとする多くの先生方のご指導、ご鞭撻の贈り物であります。また、お世話になった国際交流センターおよび大学事務室の皆様、ならびに勉学生活を支えてくれた財団の皆様、家族、友人たちに心より深く感謝いたします。長い間、皆様がいつも熱心に励まして応援して頂いたおかげで、留学にあたり色々な面での困難を乗り越え、学業に専念し、無事に卒業を迎えることができました。

この四年間を振り返ってみますと、様々な思いが呼び起こされます。

留学生にとっては、日本語の講義を理解することは大変もありましたが、インターネットから情報を収集し、図書館で参考資料を探すなど、講義の内容に対する理解を深め、いつも完璧に理解できるように努力しました。また、研究活動では、参考論文や関連図書の精読、今まで経験が少なかった分野の知識の勉強にも大変精力をいれまして、苦労も挫折もたくさんありました。

しかし、諸先生方や職員の方の親切なサポート、素晴らしい友人たちとの出会いによって、こうした困難は吹き飛び、勉学以外にはサークル活動、課外活動などに熱中出来る、充実した大学生活を送ることができました。自分の知識や考え方を広げてくれる講義は、大変興味深く、ゼミでは、自分から積極的に問題を探求していくといった、講義とはまた違った勉強の楽しさを学びました。サークル活動では、仲間とのコミュニケーションや協力することの大切さを実感しました。また、アルバイトを通じて、学校とは違った社会の仕組みをかいま見することができました。これらを通じて、尊敬出来る先輩や友人などに会い、築けた交友関係は、社会に出てからもきっと、私たちの力となってくれます。

このように、自己を磨く多彩な活動を行うことが出来たのも、ひとえに、陰ながら支えてくださいました皆様方のおかげです。支えてくださいました皆様方に、留学生の卒業生一同、感謝申し上げます次第でございます。これから先たとえ辛く逃げ出したいことがあっても、今日の良き日を思い出し、それぞれの新しい道を歩んで参る所存です。

私事ですが、電子機器や情報技術に対する視野を広げたいと思い、関西大学の工学部に進学しました。電子工学の勉強は関連分野が幅広く、特にエンジニア志望の私にとって、ハードウェアとソフトウェアの知識を両方習得する必要がありますが、諸先生方の分かりやすく、大変熱心な講義により、一つまた一つ身に付けながら、ここまで歩んできました。また、勉学中に友人と交わした議論では、自己の考えの至らない部分を指摘されることも多々あり、それによって考えが深まることで、議論をすることに楽しみを覚えました。そうして、それぞれ自己の夢を実現しようと、友人と努力し励ましあった日々は、決して忘れることの出来ない大切な思い出であり、私の財産となっています。

四月からは、国へ帰って情報技術に関連する仕事を始めます。将来、私はこの貴重な留学経験、日本文化への理解、身に付けた専門知識を活用して、中国、日本そしてアジアに貢献することが出来れば幸いです。まだまだ微力だと思いながらも、前向きに精一杯頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、私たちを暖かく見守り、ご指導くださいました学長をはじめとする諸先生方、国際交流センターおよび大学事務室の方々、そして友人の皆様に改めてお礼申し上げます。そして、後輩の皆様方のご活躍と、関西大学の一層の発展を願って、ここに答辞とさせていただきます。

平成 20 年 3 月 17 日

卒業生代表 工学部電子工学科 湯 詩夢